

からだ元気クラブ

ささえあいコグニ

りぷりんと・新宿

新宿傾聴しおりの会

講座から自立

ささえーる1年、活動根付く

ささえーる薬王寺が開館して1年。館では多くの講座が行われていますが、3月までに4つの講座の修了の方々が団体を作り、自主的に活動を続けています。みんなが地域を支え合っていく動きが、少しずつ広がっています。

誕生した4団体は「からだ元気体操講座」から「からだ元気クラブ」(高山きを子代表・34人)、「体と脳の若返り応援講座コグニサイズ」から「ささえあいコグニ」(芳村和子代表・12人)、「シニアの絵本読み聞かせ講座」から「りぷりんと・新宿」(浦野利喜子代表・16人)、「傾聴ライター養成講座」から「新宿傾聴しおりの会」(前田卓雄代表・12人)。

いずれも講座修了者が引き続き活動をするためのもので、今後続く修了者の受け入れ先にもなります。

3月4日に正式に発足した、絵本の読み聞かせを行う「りぷりんと・新宿」。

「講座前の説明会で、熊谷裕紀子先生の『ウェン王子と虎』の読み聞かせに感動して鳥肌が立ちました」と、メンバーの新飯田ふ



▲シニアの絵本読み聞かせ講座での成果発表＝2月4日

▼からだ元気クラブの活動＝3月14日

さ子さん(66)が言うと、「そうそう」とうなずく福元治美さん(69)。12回の講座を受けた20人のうち、16人が引き続き新団体に参加しました。

4月からは月2回、ささえーると同じ建物にある「アスク薬王寺保育園」で、子どもたちに読み聞かせをすることが決まっているそうです。

「私たちの脳にも良いし、続けていきます」と代表の浦野さん(77)は笑顔で話していました。

「新宿傾聴しおりの会」は5回の講座を終えた12人で発足。高齢者施設を訪ね、お年寄りの話を聞き、それを「しおり」をまとめ、高齢者の方に届けるボランティア。メンバーの活動を2カ月に1回の定例会で報告し合うことにしているそうです。

「相手の表情が光る瞬間を見



られたり、喜ばれたりするのがうれしい。生活の中で『聴く』ことの大切さを改めて感じました」と代表の前田さん(72)。

多くの施設が傾聴ライターを歓迎してくれているものの、12人で1年に傾聴できるお年寄りはいせいで100人といえます。

「関心のある人は今年度のささえーるの講座を受けて、ぜひ仲間に入ってください」と前田さんは呼びかけています。